

NEWS LETTER

令和6年 能登半島地震のその後

おかえり〜



夕日の千枚田



令和6年1月1日新しい年を迎えたその日。石川県能登半島で大地震がおこりました。皆様も記憶に新しいと思います。その後月日が過ぎ、春をむかえた時「能登支援者がたりません。」という連絡が届きました。活動内容は[現地で自家用車を使った訪問支援]。家族や花色スタッフに「能登に行きたい。」と相談すると、二つ返事で承諾してくれました。5月16日 能登半島に入ると、高速道路のアスファルトは崩れ、補修された道を縫うように輪島へ。そこには驚く光景がありました。見回せばあちこちで家が倒壊し、土砂崩れがおき、電柱や信号が傾いています。「5カ月経って、この状態。」と絶句しました。到着して数日間は風景を受け入れることができず、胸が押しつぶされそうな思いでした。

皆様は、[輪島朝市]のニュースを見たことがありますか？地震の火事で鉄筋コンクリートが熱でゆがみ、車や建物はすべて燃えつき、「プロパンガスが爆発するたびに黒いキノコ雲が空にあがった。」と言います。鎮火した朝市は5カ月そこに、そのままありました。“半島”故の、復興が進まない状態を目の当たりにしました。～地震の時を思い出すのは酷な事だと思いますが、遠くから来たボランティアに能登の皆様は発災時の状況を話してくれました。「地震の揺れは恐ろしく、立っていられなかった。テーブルや棚も飛んでくる。」「柱にしがみついた後、気づいたら瓦礫(ガレキ)の下にいて動けなかった。どんなに叫んでも声が届かない。そんな時に津波警報までおき。しかも火事のサイレンが響き『もうダメだ。』と思った時に、『逃げてる場合じゃねえ。ここに人が埋まってる。助けるぞ！』と男の人の声が聞こえ・助けてもらえた。」その時、腰の骨が4本折れていたそうです。「助けてくれて本当に嬉しかった。いつか、また朝市で、爺ちゃんの代からの店を、(朝市の)みんなと一緒に、足並み揃えて再建したい。頑張るから、きっと又きてください。」と、真っすぐ目を見て話してくれました。どんなに辛かったか。苦しかったかと思



街中の道路



朝市の火事のあと

ます。それでもアルバイトをしながら“今”を受け入れ、再建のために頑張っています。この地震で、(本日時点)死者は299人。住宅被害83,980棟。その大半が、まだ解体されていません。私は福祉ボランティアとして仮設住宅訪問に伺うと、皆さんが「家は全壊。解体するだけ。」と言います。後期高齢者が多い地区。いつになったら崩れた家の解体が始まるかわからず、「再建」を希望したところで何年先になるかわからないままに、「家の見通しがつくまで、生きていられるかなあ。本当にさあ。」と苦しいです。～避難後に身を寄せる仮設住宅～そこはとても小さな空間です。調理台のない台所。部屋の仕切りもない4畳半程の<1K>です。そこに2人で暮らします。避難所よりプライバシーが保たれるとはいえ、想像以上に小さな空間でした。荷物が入り切れずに呆然とする方もいました。何せ、能登の皆さんは大きなお家に住んでいた方ばかりです。

生活環境も大きく変わります。「何も持たずに逃げてきたから入れ歯も無いのよ。服なんてボロよ。」と穴に指を入れて笑うおばあちゃん。「お茶入れるから飲んでいって。」と招き入れて下さり、5カ月間助け合ってきたお話を聞かせてくれました。お家の中は、“仮設住宅あるある”の“隙間風”で、寒さ対策に置いているコタツと家財道具でいっぱいですが、整頓されていました。被災された方々は、暗く苦しんでいるばかりではなく、日常を歩んでいます。

この度、輪島で一緒に活動をした全国から集まった福祉ボランティアさんの一人が能登の現状について、こう伝えてくれました。「崩れた家があり、割れた道路があり。でも、並行して穏やかな時間や笑顔や景色に見惚れることがある。表裏一体というか。辛さだけでなく、楽しさだけでなく。それでもって“力”というか、やる気に駆られる。」～この言葉が、能登支援に入った者の感想としてピッタリだと感じました。たくさんの方々と出会えました。地元の幸も頂いてきました。(不謹慎なようですが、ボランティアは現地で金をつかって経済をまわすのも一つの役割になるとの事です。)

私が能登支援に行きたいと思ったのは、北海道がブラックアウトになり、その対応としての災害対策について学んだ数年があったからです。被災地に行き、気づいたのは『地域全体で平時から災害を考え、顔の見える絆を作り“具体的なシステム化”を事前に整える事の必要性』でした。今後はこの経験を糧に、地域の皆様と共に歩む花色をつくっていきたいと考えております。

齊藤由紀





NEWS LETTER

能登半島復興支援商品 【取扱いはじめました！】

販売開始



という薬局(旭川市春光5-5 Tel 0166(76)6608)
能登復興支援商品「NOTO, NOT ALONE(能登は一人じゃない)」
取扱い始めました。

親指を使って
能登半島を表現
しています。

能登特製ブレンド珈琲

ホンジュラス、エチオピア、インドネシアの豆をブレンド。中米、アフリカ、アジアの3大陸をつないだ、やわらかいコクと優しい甘み、スッパリした味わいが特徴です。豆と粉をお選びいただけます。



能登特製ブレンド珈琲 (100g)

販売価格 840円(税込)



能登特製ブレンド珈琲 (200g)

販売価格 1,450円(税込)

オリジナルTシャツ(半袖×黒・白)



Tシャツ-A

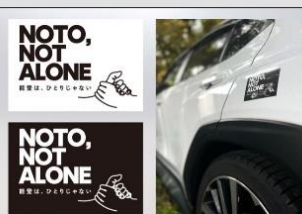
サイズ/S・M・L・XL・2XL
カラー/白・黒
販売価格 3,300円(税込)



Tシャツ-B

サイズ/S・M・L・XL・2XL
カラー/白・黒
販売価格 3,300円(税込)

ステッカー



ステッカー

販売価格 1個/500円(税込)

マグカップ



マグカップ

販売価格 1個/1,200円(税込)

“親指の能登半島”を包み込むように支える手を添えて、心を寄せる人々の想いを表現されています。

避難所のボードに書かれていた「Not Alone

能登はひとりじゃない」を能登(穴水)出身のデザイナー竹野順子さんと輪島カブーレでコラボした復興支援商品です。

NOTO, NOT ALONE みんなで着て能登を応援できたら良いですね。
この商品は2割が寄付として能登復興支援に役立たれます。

花色でもNOTO, NOT ALONEの
ご注文を受付ています
(担当:齊藤)



重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER

能登はとっても
素敵な所です

石川県輪島市

能登復興の経過



土屋太鳳さん送った
“まれ”の
モニュメントは
焼けずに
残ってます



数少ない通学中の小学生
みんな挨拶してくれます。
「おはよう！
足元の穴に落ちないでね！」
「おばさんもね～」



近づく事もできない倒壊したまま手付かずの地区も。



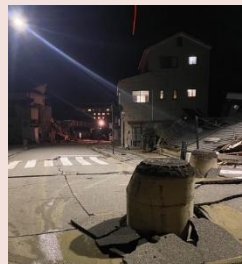
家が滑ってます。。



朝市の火事のあと。



全国から集まった日々変わるボランティア仲間。



マンホールが隆起！



岩が道路のすぐ上に。



仮設住宅訪問中。



行けない道がたくさんあってもそこで生活が始まっています。



炊き出しをしてくれた重蔵神社さん。



全国の福祉ボランティア友達
ができました！



テント湯



ボランティア、
食事、泊、風呂
いつも一緒



文中の-能登半島支援の
感想をくれたボラ仲間の
神奈川のMIZOさん



重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER

vol.45

2024. 7.01

宮城県/佐藤工務店さんにご挨拶に行ってきました！



能登支援の帰りに、宮城県の佐藤工務店さんにご挨拶に行く事ができました！NHKおはよう日本で放送されてから、会長さんをはじめ、社長さん、副社長さん、職員さん皆様で応援してくださっている 佐藤工務店(宮城県加美町)さん。すぐにご挨拶に行ける距離はないので..ずっと気にかかっていた。 「能登に行く！」と決まった時に地図を開くと、「石川県から右に少し行って、上にあがったら宮城県だよね？」と、スタッフと顔を見合わせてこんな会話をしました。(“東西南北ではない所”もふくめて、日本地図を見る感覚がズレていました。) というのも..

能登半島支援は一人で自家用車を運転していきます。長距離運転は初めてです。高速道路は早朝のみ2回。本州で運転するのとはじめて。車でフェリーに乗るのとはじめて。それでも、「能登に行きたい！」と思ったので「50歳の冒険ですね。ご無事で。」と心配される程でした。更に、被災地ボランティアも初めて。ですので、支援後にどのくらい体力が維持できているかも想像できず「31日に行きます！」と事前に伝える余裕もなく、佐藤工務店さんには大変申し訳ないのですが「明日の夕方にご挨拶に伺っても良いでしょうか？」という突拍子もない連絡をしてしまいました。(驚かせて、急なお願いをしてしまい申し訳ございません。)



出発する前に、子ども達と保育士さんが佐藤工務店さんにプレゼントを作ってくれたので「届けなきゃ！」という気持ちも膨らみました。

宮城県加美町は、葉菜山をのぞみ、美しい清流がながれ、水田が広がり、有名な酒蔵もある穏やかな町です。その地元に根付いた佐藤工務店さん。扉を開き、まず目に入ったのは、これまで花色が送ったお便りとステッカーでした。綺麗に飾ってくださっていただき感謝の気持ちで胸いっぱいになりました。

ご挨拶をさせていただくと、「私達は、陰ながら応援できたら良いので。」と、優しくお話をくださいました。「ありがとうございます。」以上の言葉が出てきませんでした。

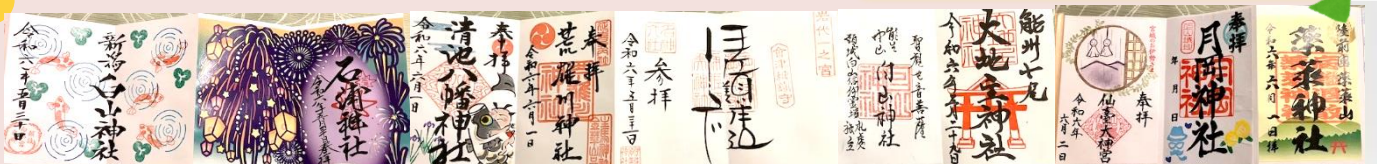
私たち花色は幸せです。全国にこうして、子ども達を思い応援してくれている方が沢山いらっしゃいます。心強いですし、あたたかく、想いに深く感動しています。

そして、私と入れ替わりに佐藤工務店さんからも今朝、能登にむかって支援に出発されたと聞きました。

人と人の縁って、本当に有難いです。助け合ったり、応援をして、未来をつくっていくことができます。今日も笑顔で、子ども達。スタッフ。ご近所さんに。そして全国の皆様に、「ありがとう」を伝えられます。一日、一日を大切にしていきたいと思います。



宮城県
加美町
葉菜神社



能登半島に自家用車で行ったことで、石川県、富山県、新潟県、福島県、山形県、宮城県の神社の御朱印を頂いてきました。花色の神棚から子ども達を見守っていただいています。「ぜひ見に来てね♪」

花色スタッフの風景



5月21日 垂直避難訓練 (災害対策委員会主催)

重度障がい児支援 花色 NEWS LETTER

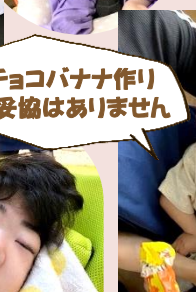
vol.45

2024. 7.01

お姉ちゃん
あへそぼう

“6月の花色のこども達”

いちご
チョコ!



チョコバナナ作り
に妥協はありません

おいしい!

スタッフのご紹介「こんにちは」「ありがとう」

新しい運転手さんの
下村さんです。



しもむら
さん

ちばさん



美瑛から公共交通手段で通ってくれていた
“つじちゃん”。こどもたちに笑顔で
優しく携わってくれましたが、急遽
6月いっぱい離れることになりました。
「いつでも、会いにきてね!」
稼業のつじちゃん家の豚肉は、美瑛の
花輪食品店にて購入できます。ぜひ!

高田さんも
もうすぐ
復帰します!



要支援者ら直接避難「指定福祉避難所」

旭川では1施設 人手不足も影響

受け入れに不安 設置進まず

旭川市では、指定福祉避難所として、旭川市立保健福祉センターが指定されている。しかし、人手不足の影響で、受け入れに不安があるという。また、指定福祉避難所の設置が進まず、受け入れに不安があるという。

旭川市では、指定福祉避難所として、旭川市立保健福祉センターが指定されている。しかし、人手不足の影響で、受け入れに不安があるという。また、指定福祉避難所の設置が進まず、受け入れに不安があるという。

取材ご協力ありがとうございます!

花色スタッフの風景



5月15日 地域交流会（災害委員会開催）



重度障がい児支援 花色 NEWS LETTER

vol.45

2024. 7.01

“スタッフ紹介”

管理者 ゆきさん



看護師 ゆきこさん



看護師 なっちゃん



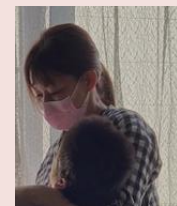
作業療法士 おやちゃん

保育士 ひとみちゃん



児発管 なおこさん

看護師 みどりさん



看護師 めめちゃん

看護師 みさきちゃん



看護師 てつにい



保育士 さなえちゃん

災害支援に行って「これ必要！」と思った物メモ

- ☑ 封筒型の寝袋(暑い時に横を開けて調節できます。2枚繋げて大きくもなります)
- ☑ エアマット(栓をあけると空気が入って簡単)、枕(アウトドア用)、ひざ掛け
- ☑ レインシューズ + 踏み抜き防止インソールを入れておく!
- ☑ 身体にフィットする小ランニングリュック(貴重品・スマホ)+帽子+革手袋+鈴(笛より鈴が便利) ★カラビナで固定
- ☑ ソーラーライト、ソーラーモバイルバッテリー
- ☑ クリップボード、メモ紙、ペン、マスキングテープ(書く台がないので重宝します)
- ☑ 洗濯入れる中が見えない大きな袋、ハンガー5本程、低反発クッション(枕でも可)、電池式蚊取り線香、
- ☑ 小銭(1万円札は使える所が少ないです。コインランドリー分も含めて多めに)
- ☑ マスク(サージカル、N95、喉ヌールスプレー)、うがい薬、定期薬、シアバター
- ☑ ハサミ、爪切り
- ☑ 上下別の雨がっぱ、Tシャツ(たくさん)、靴下(たくさん)、パジャマ替わりの外に飛び出していける服
- ☑ 大きなリュックサック ★カラビナをつけ掛けられるようにしておく(道路が悪くキャリーケースは使えません)
- ☑ 使い慣れた歯ブラシ、固形シャンプー(こぼれ防止とプラスチックごみの分別が大変)
- ☑ 好きな飲食物(わたしはドリップコーヒー)

Mozambique(モザンビーク)の肌触りのよい内側がフランネル生地寝袋が心地よく眠れました!

